

<研究ノート>

西夏語における「第3類」動詞の対について
A Study of the Third Class of Verbs in Tangut
西夏語第3类动词研究

劉少華
Shaohua Liu

中国人民大学国学院 / 東京外国語大学 AA 研研究生
Renmin University of China, School of Chinese Classics / Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 西夏語の動詞を主母音の交替という点から4種に分類する龔らの先行研究がある。しかし、「第3類」の分類は第1, 2類と異なり, 人称の観点では説明できないため, 新たな観点から再考する必要がある。筆者は3種の動詞の対, 例外的な「来る」の対を, 例文と共に検証した。結論として, 第3類動詞の区別は「現実・非現実」の対立であると主張する。

Abstract: According to vowel alternation, Tangut verbs can be divided into four categories in previous studies by Gong and others. The classification of the third class of verbs has nothing to do with personal pronouns. By studying three groups of verbs in the third class of verbs and the exceptional “come”. It is shown that the third class of verbs is classified according to “realis” and “irrealis”.

キーワード: 西夏語, 動詞, 母音交替, 現実, 非現実

Keywords: Tangut, verb, vowel alternation, realis, irrealis

1. はじめに一西夏語の動詞分類と問題の所在

1.1. 西夏語の動詞分類

西夏語¹は1038-1227年, 中国西北部に存在した西夏国の言語で, 言語系統はシナ・チベット語族チベット・ビルマ語派に属する。龔煌城の研究によれば, 西夏語の動詞(語幹)は韻母の(主母音の)交替によって四つの組に分けられる²。それぞれ次の通りである。



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed/ja>

¹ 西夏語の概要についてはGong(2003), 西田(2012)などを参照。

² 龔(2001:21-67)によれば, 西夏語の動詞は5種類に分けられているが, 「第5類」の動詞は韻母主母音の交替による対が無いので, ここでは省略した。

※本稿の例文では西夏文字, その推定音, 語ごとの意味, 全訳。そして出典(『新集慈孝伝』, 『金剛経』, 『五類法界』, 『灯要』, 『天盛律令』, 『類林』, 『維摩詰所説経』)を示す。西夏語の推定音については『夏漢字典』(李1997, 2008)に従う。ただし, 声調は「1=平声」, 「2=上声」, 「?は声調不明」を, 音節初頭の肩文字で示す。文法要素略号は稿末に付す。

謝辞: 本研究は中国人民大学研究生科学研究基金“西夏文《十二国》の語法探析”(21XNH053)の援助を受けている。荒川慎太郎先生, キリル・ソローニン先生及び査読頂いたお二人の先生にもご指導に深く感謝申し上げます。

分類	韻母主母音の交替	基本形	派生形
第1類	-ji と jo	𐵇 ² dzjij	𐵇 ² dzjo
第2類	-ju と jo	𐵇 ¹ tshju	𐵇 ¹ tshjo
第3類	-ji と ji	𐵇 ² sjj	𐵇 ¹ sjj
第4類	-jij と -ji	𐵇 ² ljij	𐵇 ² lji

本考察でも論じるように「基本形・派生形」とされているものの、どちらが基本形であるかは再考の余地がある。一方、母音の交替が見られない動詞もあり、それらのほうが一般的なものである³。西田⁴他の研究では、動詞の韻母交替は人称に関係している。以下に「聞く」を表す𐵇¹mji と𐵇¹mjo の例文を挙げる。

- (01) 𐵇²thji 𐵇²sjju 𐵇¹mjo 𐵇²ŋa
この 如く 聞く SUF .

このように私は聞いた。 『金剛経』(荒川 2014:219)

これは仏典の中によく見られる例文で、いわゆる「如是我聞」の訳で、1人称接尾辞が文の主語を表わす。2人称の場合は1人称と同じである。それに対して、3人称の場合には𐵇¹mji¹を使う。

- (02) 𐵇²tsji 𐵇¹sjjij 𐵇²thji 𐵇¹ljaa 𐵇¹mji 𐵇¹niioow
志誠 この 偈 聞く 後

志誠はこの偈を聞いた後 『灯要』(29:13)⁵

西夏語において、3人称接尾辞はない。即ち、人称接尾辞の有無で第1類の動詞(-ji と -jo の交替)を区別することができる。第2類と第4類の例は省略するが、第1類の使い分けと同様である。

1.2. 問題点:第3類動詞の分類に関する問題

しかし、第3類の動詞を人称で区別するとは限らない⁶。ここでは上声前舌母音と平声中舌母音の対となる⁷、即ち、龔の分類で「第3類動詞」に属す動詞の例を取り上げる。

- (03) 𐵇²sjjij 𐵇²ju 𐵇¹sjä 𐵇²dzjij 𐵇¹tja ... 𐵇¹tshjiw 𐵇²tsew 𐵇²mər 𐵇²dzjij 𐵇²do 𐵇²dzju 𐵇²sjjij
智常 禪 師 TOP 六 第 本 師 所 会 う 行く

智常禪師は第六本師の所に会いに行く。 『灯要』(38:13)

この節の主語は3人称の智常禪師である。一方、同じ西夏文献で、主語が1人称の時、𐵇²sjjij も使われる。

- (04) 𐵇²ŋa 𐵇¹sjjij 𐵇²thja 𐵇¹jjij¹ 𐵇¹nji 𐵇²do 𐵇¹tji 𐵇¹kju 𐵇²sjjij 𐵇²ŋa
私 昔 彼 の 家 所 食 求める 行く SUF

³ 荒川 (2005:164-165)参照。

⁴ 西田 (2012:223-226)参照。

⁵ 未公開の文献で、ロシア科学院東方文献研究所蔵から筆者がテキスト化した。全ての図版と録文は今後、作者による論文で公開予定である。()内は出典部分の何葉目、何行目を示す。

⁶ 龔 (2001:21-67)の研究では、全四種類の動詞が人称で区別できると指摘されている。

⁷ 本稿では第3類に属している上声前舌母音の西夏文字の下に下線“_”を引く。平声中舌母音の西夏文字の下に波線“~~~~”を引く。𐵇¹「来る」は太字で示す。

私は昔、彼の家に食を求めに行った。 『維摩詰所説経』(張 2013:322)

上記の二つの例から、第3類の動詞の区別は人称ではないことが明らかになった。龍²sjjと薙¹sjjについては、Jacquesにも指摘されている。⁸本稿では、「第3類」と呼ぶ動詞の区別について、検討していきたい。

2. 第3類動詞の分類再考

1.2に挙げた例文から見ると、第3類の動詞は第1類の動詞と異なるカテゴリーとすべきである。以下は西夏文献でよく見られる第3類動詞⁹の対を挙げて、その使い分けを検討する。

2.1. 「行く」の対

まず龍²sjjと薙¹sjjの対について、例とともに検討する。

(05)	𐽀	𐽁	𐽂	𐽃	𐽄	𐽅	𐽆	𐽇?	𐽈	𐽉	𐽊
	² nji	² nji	¹ rjur	² dziwo	² thji	² do	² wa	¹ wji	¹ tshew	² khji	² do
	汝	達	諸	人	ここ	LOC	何	する	曹	溪	LOC
	𐽋	𐽌	𐽍	𐽎							
	² jjiw	¹ phja	¹ sjj	² lew							

疑い 断つ 行く べき。

お前たちはここで何をしているのか? 曹溪の所に行って疑いを断つべきだ。 『灯要』(28:14)

この節は、西夏文『灯要』の内容で、神秀が弟子たちに「曹溪の所に行って疑問を解くべき」と言ったものである。「行く」という動作はまだ行われていない。非現実に属するものである。

(06)	𐽏	𐽐	𐽑	𐽒	𐽓	𐽔	𐽕	𐽖	𐽗	𐽘	𐽙
	² xā	¹ sjj	¹ wəə	² gji	² gji	¹ sjwi	² ya	¹ tshjiw	² we	² jar	² sjj
	漢	朝	孝	婦	一	年	十	六	成る	嫁	<u>行く</u>
	…	𐽚	𐽛	𐽜	𐽝	𐽞					
		¹ iq	² jar	¹ sjj	² sjji	¹ mji					
	…	凡そ	嫁	<u>行く</u>	念	NEG					

漢朝の時、ある孝婦が16歳になり嫁に行った。…凡そ(再び)嫁に行くことは考えないでしょう。

『新集慈孝伝』(聶 2009:107)

最初の「結婚する」は既成の事実で、「16歳で結婚した」。その後の「結婚する」は、推量で「再婚する考えがないだろう」である。文脈から2度目の「結婚」が非現実であることが分かる。

以上から、龍²sjjと薙¹sjjが「現実」と「非現実」¹⁰という概念で区別することができる。「𐽛薙」につい

⁸ Jacques (2014: 227-228)参照。

⁹ 龔 (2001:62)には、本考察では扱わないものの、「第3類」と見做すペアが他に3組(𐽛¹tshji—𐽛¹tshji「好む」、𐽛²jji—𐽛²jji「待つ」、𐽛¹lhji—𐽛²jji「悔しむ」)挙げられている。これについては今回は資料的な制約などで調査できなかった。今後の検討課題とする。

¹⁰ 「realis(現実)」と「irrealis(非現実)」とは、その出来事が「現実が発生したか」「少なくともまだ発生していないか」という広義の定義とする。

て、例文(07)でも傍証できる。

- (07) 𪛗 𪛘 𪛙 𪛚 𪛛 𪛜 𪛝 𪛞 𪛟 𪛠 𪛡 𪛢
 ²mjo ¹sji ¹nioow ²rjjr ²gji ²bjij ¹tsəj ¹pha ¹kjj ²·jar ¹sji ¹ji
 私 死ぬ 後 妻 幼い 他 P2¹¹ 嫁 行く 言う
 私は(自分が)死んだら、幼い妻を他人に嫁に行かせようと言った。『類林』(張 2013:333)

これは『類林』の一節で、武子が魏顥(ぎか)に言った「私(自分が)は死んだら、幼い妻を他人に嫁に行かせましょう」という発言。その時は武子は死に臨んだがまだ死んでいないから、「嫁に行く」という出来事も発生していない。したがって、ここでは𪛡 ¹sji を使って非現実を表わしている。

2.2.「死ぬ」の対

例文(07)に出現した𪛡 ¹sji 「死ぬ」も第3類動詞に属していて、この動詞の対となる上声前舌母音の形式は𪛡¹²sji である。例文(07)の文脈から見れば、武子は死に臨んだが死んでいない。即ち𪛡 ¹sji も非現実を表わすはずである。

この他、上声前舌母音の𪛡²sji と平声中舌母音の𪛡 ¹sji の例を挙げて説明する。

- (08) 𪛣 𪛤 𪛥 𪛦 𪛧 𪛨 𪛩 𪛪 𪛫 𪛬 𪛭
 ¹ŋwuu ²·a ¹lhjwi ¹nioow ²rjjr ¹wə ²gji ¹gja ¹rjar ²dja ²sji
 言葉 P1 取る 後に 丈夫 軍 遠い P1 死ぬ
 約束した後、夫が遠くで死んだ。 『新集慈孝伝』(聶 2009:107)

この文は例文(06)と同じ『新集慈孝伝』にあるもので、軍隊に入ろうとする男性は自分の妻に、「もし(自分が)戦死したら母を託す」と言い、妻が同意した後、彼が軍隊に入って戦死したという文脈である。つまり戦死が既成事実である。そして、動詞𪛭²sji の前に「完了を示す」接頭辞𪛭²dja が使われている。

- (09) 𪛮 𪛯 𪛰 …… 𪛱 𪛲 𪛳 𪛴 …… 𪛵
 ¹xā ²xwo ¹tja …… ²gji ¹tsəj ²gji ²dzjj …… ¹rjar
 韓 滉 TOP …… 子 幼い 一 いる …… 遠い
 𪛶 𪛷 𪛸 𪛹 𪛺 𪛻 𪛼 𪛽 𪛾 𪛿
 ²ŋwu ¹nja ¹lji ²wji ¹djij ²rewr ¹tshjaa ¹zjj ²dja ²sji
 で P1 墮す なる 階段 上 着く P1 死ぬ

韓滉は、……幼い子供(一人)がいて、……落ちて階段に着き(ぶつかる、突き当たる)死んだ。

『新集慈孝伝』(聶 2009:132)

この内容も『新集慈孝伝』の一節で、韓滉の息子が落ちて階段に突き当たって死んだ、という文脈で、既成の事実であることが明らかである。例文(08)と同じく動詞の前に接頭辞𪛭²dja が使われている¹³。

¹¹ 先行研究では、凡そP1(接頭辞1)は「完了」、P2(接頭辞2)は「願望・希求」を表わす。

¹² 𪛡は文献によっては「𪛡」という異体字で書かれている。

¹³ 接頭辞𪛭²dja の用法については、Arakawa (2022:30-32)など参照。他の例文を見ると、現実に発生していても、動詞が「完了」を表わす接頭辞と共起するとは限らない。しかし、(08)(09)の二つの例文に接頭辞𪛭²dja が使われている。これについて、筆者は二つの考えがあり、一つはArakawa (2021:64-73)の指摘の通り、「悪い事が発生する」ため、𪛭²dja が使われているという可能性、もう一つは西夏語のこの接頭辞と「死ぬ」の組み合わせが定着して、即ち接頭辞が拘束形態的になったという可能性である。

例文(08)と(09)は、既成の事実で、「死ぬ」という出来事が発生したことを表わす時得²sjjが使われている。一方、以下は構¹sjjの例を示す。

(10)	𐵇	𐵈	𐵉	𐵊	𐵋	𐵌	𐵍	𐵎	𐵏	𐵐	𐵑	𐵒	𐵓
	² gji	¹ lhji	² thji	² sjj	² dzji	¹ dzjij	¹ mjo	² ɲa	¹ su	¹ io	² djij	¹ sjj	² ɲa
	子孫		DEM	如く	行為		聞く	SUF	より	凡そ	P2	死ぬ	SUF

私は、子孫がこのような行為をしたのを聞くよりも死にたい。『新集慈孝伝』(聶 2009:113)

これは馬援が自分の子供に言った言葉で「あなた達がそのような悪いことをすれば、私は(それを)聞くよりむしろ死にたい」と話す。ここでの「死」は発生しておらず、事実ではない。動詞の前に「願望・希求」を表す接頭辞²djijが使われている。

(11)	𐵔	𐵕	𐵖	𐵗	𐵘	𐵙	𐵚	𐵛	𐵜	𐵝	……
	¹ ɲwuu	² tshe	² sjj	¹ tsjo	² kja	² dja	² we	¹ sjj	¹ mji	² kiej	……
	曰く	賤しい	妾	醜い	P1	なる	死ぬ	NEG	欲しい	……	

(老婦は)曰く：賤しい妾(自分)は醜くなったが、死にたくない。『新集慈孝伝』(聶 2009:158)

これは『新集慈孝伝』の一節で、ある老婦は「自分が醜くなったが、死にたくない」と言った。ここでの「死ぬ」も文脈から非現実であることが分かる。

例文(10)と(11)が示すように、「死ぬ」ということが未発生であり現実ではない時、構¹sjjを使う。

西夏語における動詞「死ぬ」が、中国語、チベット語、ビルマ語と同源であることは龔煌城により既に指摘されていたが、その使い分けについては考察されなかった。¹⁴例文(10)-(11)の例によって、得²sjjは現実(=死)を意味し、構¹sjjは非現実である(=死んでいない)時に使うということが明らかになった。

2.3. 「捨てる」の対

他に、西夏文献によく現われる第3類動詞に「捨てる」を意味する²phjiと¹phjiがある。以下「出家」を示す例文とともに、上声前舌母音の²phjiと平声中舌母音の¹phjiの使い分けを検討する。

(12)	𐵞	𐵟	𐵠	𐵡	𐵢	𐵣	𐵤	𐵥	𐵦	𐵧	𐵨
	² xiaj	² dja	² le	¹ nja	¹ tsja	² shji	² rjar	² a	¹ gji	² dzjar	² sjj
	衡	P1	恐れ	P1	伏す	たちまち	P1	醒める	罪	如く	
	𐵩	𐵪	𐵫	𐵬							
	¹ nji	¹ phji	¹ dzju	² ju							
	宅	捨てる	旨	探す							

衡は恐れて、伏して、たちまち醒めて、罪(を得た)ように、出家して旨を探す。『灯要』(36:5)

(13)	𐵭	𐵮	𐵯	𐵰	𐵱	𐵲	𐵳	𐵴	𐵵	𐵶
	¹ yu	¹ nji	¹ lji	² dja	² phji	² djij	² lji	¹ guu	¹ lji	¹ gie
	昔	宅	及び	P1	捨てる	然し	恩	合う	報い	難しい

昔に出家したが、しかし(師の)恩に報いるのが難しい 『灯要』(36:12)

例文(12)前後の文脈によれば「衡は祖師の話聞いて、驚き、伏して後悔してたまらない、出家したがっている」。つまり、この時「出家」ということがまだ現実に発生しておらず、非現実である。これに対して、例文(13)は「衡は出家してから、ある日、突然祖師の教を思い出して、祖師に拝謁するために来た。その

¹⁴ 龔 (2005:146)参照。

時、祖師は『なぜこんなに遅く来たのか』と聞き、衡は『ずっと前に出家したが、祖師の恩に報いるのは難しい…』と答えた文脈である。この時の「出家」は既に発生していて、動詞の前に「完了」を示す接頭辞叢²djaが使われている。

2.4. 「小結」

以上の例文をまとめると、上声前舌母音の徻²sji, 穽²phji, 叢²sjiが現実を表わす時に使われ、平声中舌母音の穽¹sji, 穽¹phji, 叢¹sjiが非現実の時に使われたことが明らかになった。

非現実を表わす時「願望・希求」の接頭辞を付加する（例えば「穽¹穽¹」）。現実を表す時「完了」の接頭辞を付加することがある（例えば「叢²徻²」「叢²穽²」）。しかし、全体的には、現実と非現実を表わす時、必ずしも動詞語幹に接頭辞を付加するとは限らない。即ち、西夏語は動詞のみで現実と非現実を区別している。西夏語における第3類動詞の区別は人称ではなく、現実と非現実で区別されることが明らかになった。そして、以上の考察をまとめると、以下の図のようになる。

第3類動詞の主母音と声調	上声前舌母音	平声中舌母音
動作の現実・非現実	現実	非現実
死ぬ	徻 ² sji	穽 ¹ sji
捨てる	穽 ² phji	穽 ¹ phji
行く	叢 ² sji	叢 ¹ sji

図が示すように、上声の前舌母音を持つ動詞形が現実を表し、平声の中舌母音を持つ動詞形が非現実を表わす。

3. 例外となる動詞「来る」について

3.1. 予想される主母音と異なる「来る」

ここでは龔に「第3類」とされない、つまり規則的な母音交替の見られない例として「来る」を実例とともに検証する。

前述のように、「行く」を意味する叢¹sjiと叢²sjiはペアになっている。一方、西夏語の「来る」を意味する一般的な動詞は龔¹ljaと嶽²ljij¹⁵である。西田によれば「行く」(叢¹sji 叢²sji)と「来る」(龔¹lja 嶽²ljij)はそれぞれ対になる。¹⁶西夏文献では実際に、龔¹ljaと叢¹sjiは、「往来」のような動作の対の表現に使われている。

(14)	龔	龔	纒	慨	纒	穽	纒	慨	纒	
	¹ wec	¹ lja	² dzuu	¹ mji	¹ gjiwir	¹ sji	¹ sji	¹ gjiwir	¹ mji	² dzuu
	生まれる	来る	座る	NEG	臥す	死ぬ	行く	臥す	NEG	座る

生まれ来てから、座っていて横にはならない、死に行けば横になって、座ることが出来ない。『灯要』(29:6)

(15)	鬲	叢	鬲	龔	禿	紉	徻.
	² ju	¹ sji	² ju	¹ lja	² mər	¹ sā	² mej
	体	行く	体	来る	本来	三昧	

体が行ったり来たりすること、(これが)本来の三昧(を意味する)。『灯要』(29:13)

¹⁵ 龔 (2005:146)の分類によって、嶽²ljijが第5類に属し、即ち韻母主母音の交替による対が無いものとなっている。

¹⁶ 西田は、「来る—行く」について、I類は龔—叢でII類は嶽—叢のような組み合わせを想定する。具体的には西田(2012:286)参照。

例文(14)と例文(15)で見られるように「行く」の対となる動詞「来る」は𐽀 ʼlja である。

このように, 𐽀 ʼlja と𐽁 ʼsji は異なる方向に向かう動作の対なので, 𐽁 ʼsji が非現実の場合に使われれば, 逆方向の𐽀 ʼlja も動作が非現実の場合で使われるはずである。以下に「来る」を意味する西夏語の例を挙げる。

(16)	𐽀	𐽀	…	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀
	²dzjij	²da	…	²ji	¹mə	²dzjwo	¹tja	¹zji	¹sew	¹bja	²niow
	師	曰く	…	西	天	人	TOP	嫉妬		凶悪	
	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀
	¹bju	²nji	²nji	¹jij	¹ka	¹tshjaa	¹lja	¹tsjiir	²nji	²jij	¹kji
	で	汝	達	の	命	LOC	来る	法	聞く	来る	P1
	𐽀	𐽀	…	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	…
	¹tji	²ji	…	²sjj	¹mjii	²zjir	¹tshwew	¹tsja	¹kji	¹sji	…
	PROH	説く	…	聖	宮	永く	敬礼		P1	行く	…
	𐽀	□ ¹⁷	𐽀	𐽀	𐽀 ¹⁸	𐽀	𐽀	…			
	²rjir		¹zjij	¹tsjiir	²wji	²nji	¹lja	…			
	と		時	法	IMP	聞く	来る	…			

師は曰く「西天の人は嫉妬し, 凶悪で, あなた達の命を取りに来るでしょう, (あなた達が)法を聞くために来た(西天の人)に言わずに, 聖なる宮殿に礼拝に行きなさい, (…時)法を聞きに来なさい」

『五類法界』(Solonin forthcoming)

これは西夏文『五類法界』の一節である。この文には𐽀 ʼlja¹が二度出現し, 一度目は「西方の天人があなたの命を奪いに来るでしょう」, 二度目は文の最後の「その時法を聞きに来なさい」, いずれの文脈も事実ではないことが明らかである。つまり文脈から見れば, 二箇所での「来る」は非現実である。一方, この節に𐽀 ²jij も出現するが, 『法を聞くためにここに来た』と言うな」という文脈であり, ここでは「来る」という出来事が既に発生したことなので, 「現実」を表わす動詞となる。

3.2. 実際の例からの分析と, もう一つの「来る」

しかし, 2.4 の図で示すように「死ぬ」「離れる」と「行く」の母音は-i と-ɨ の交替で成り立つが, 「来る」を意味する動詞だけが例外的である。示された母音交替の規則からは, “¹lja” より “¹lji” の方が期待される。西夏語の推定音によれば, “¹lji” で「来る」を表す西夏語は無いものの, ほぼ規則的に予測される主母音を持つ「来る」“¹lji”がある。𐽀より頻度は低いものの, 『灯要』で“𐽁 ʼlji”を使う例文を示す。

(17)	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀
	¹pha	²njii	¹jij	²lhej	²ɣwu	¹lji	¹rjar	²ɣa	²nji
	他	日	相	変える	により	来る	願い	私	お前
	𐽀	𐽀	𐽀	𐽀					
	¹jij	¹ɣjiw	¹ɣiwej	²nja					
	CM	摂受		SUF					

「他の日に顔を変えて来るのを願う。(そうしたら)私はお前を受け入れる」『灯要』(36:8)

これは大師が志徹に話した言葉である。志徹は悪いことをして, 大師に告白したところ, 大師は「私の弟子がお前を害するかもしれない。お前は他の日に顔を変えて来るように, その時私はお前を受け入れる」

¹⁷ 原図版の字は判読できなかった。

¹⁸ P1 は完了ではなくここでは「命令」を表わす用法と考える。

と言った。ここでの「他の日」は「未来のある日」を指し、「来る」のは非現実であることが分かる。

龍¹jiを使う例文は同じ『灯要』という文献に一例しかないが、しかし、文脈から見れば、龍¹jiと牀¹jaが同じ場合で使われることが明らかになった¹⁹。

4. 結論と今後の課題

本研究によって、西夏語の第3類動詞の区別は、現実と非現実の対立であることが結論付けられる。母音の例外的な「来る」を加えて、結論は以下の図で示される。

第3類動詞の主母音と声調	上声前舌母音	平声中舌母音
動作の現実・非現実	現実	非現実
死ぬ	𐽄 ² sjɪ	𐽄 ¹ sjɪ
捨てる	𐽄 ² phjɪ	𐽄 ¹ phjɪ
行く	龍 ² sjɪ	龍 ¹ sjɪ
来る	牀 ² lijj	牀 ¹ ja, 龍 ¹ ji

しかし、例外となる事例と今後の課題も残されている。

1. 管見の限り、殆どの西夏文献において、現実と非現実の対立が成り立つが、時にこの結論の例外となる例もある。例えば

(18) 𐽄¹mjj 𐽄²nji 𐽄²mjj 𐽄²jar 龍²sjɪ 𐽄¹ya 𐽄¹khju 𐽄¹dzjij
 女 等 NEG 嫁 行く 門 下 住む

嫁に行かない女達は門の下に住む 『天盛律令』(Jacques 2012:237)

この文は『天盛律令』の一節で、「嫁に行かない」という意味を示すにもかかわらず、「現実」の場合の龍²sjɪ²が扱われる。文脈上、非現実であるのに、この形式となることは本考察の例外である。一方、同じ否定形、つまり非現実で、龍¹sjɪを使う場合もある。

(19) 龍²sjɪ 𐽄²dzjwo 𐽄¹jij 𐽄²wo 𐽄¹tja 𐽄¹lew 𐽄²jar 𐽄¹nioow 𐽄²ji 𐽄¹mji 𐽄²jar 龍¹sjɪ 𐽄¹ji
 婦 人 の 義 TOP 一 嫁 後 再び NEG 嫁 行く 言う

婦人の義は、一度嫁いたら、再び嫁に行かないと言う 『新集慈孝伝』(聶 2009:157)

この節は、梁王が、夫が亡くなった高行に嫁ぎたい時、高行が梁王に言った言葉で、「婦人の義は、一度結婚したら、夫が亡くなっても二度と他の男性と結婚することは無いというものである」と説いている。ここで、同じ否定文であるが、非現実の龍¹sjɪが使われる。

論理的に考えれば、例文(19)の使い方が適切である。しかし、例文(18)には留意すべきことがある。例文(18)のような組み合わせ(𐽄²sjɪ)がほぼ『天盛律令』という資料に限定されることである。『天盛律令』は西夏の律令に関する文献であり、他の文献と異なる特徴といえる可能性がある。

¹⁹西夏語には、子音が同じく、母音-iと-aの対立を持って、字形も似ているという西夏文字の例があり、𐽄¹kjiと𐽄¹kjaである。𐽄¹kjiと𐽄¹kjaの関係について、段(2022:24)は「𐽄¹kjiは接頭辞として、疑問の機能も帯びている可能性もある、『疑問』の機能を区分するために、字形𐽄¹kjiを基に、新しい西夏文字𐽄¹kjaを作った」と述べた。即ち、子音が同じく、字形も似ている西夏文字で、同じ文法機能を帯びている可能性がある。龍¹jiと牀¹jaの関係もそのようになるかと推量する。

2. 上の他に、一つの問題がある。龔煌城の分析によれば、𐵇²sji は基本形で、𐵇¹sji は派生形である²⁰。それに従えば、現実を示す式は基本形で、非現実を示す式は派生形となる。即ち西夏語の「非現実」が「現実」から派生するということになる²¹。これは妥当なことであるか、「基本形がどちらか」などを再考する必要もあるかもしれない。また、その派生は「願望」を表す接頭辞に関わるのだろうか？

以上の例と問題を検討することが今後の課題である。

文法要素略号

CM:格標識, DEM:指示詞, IMP:命令, LOC:位格, NEG:否定辞, P1:接頭辞1, P2:接頭辞2, PROH:禁止, SUF:人称接尾辞, TOP:主題標識

参考文献

和文・中文

- 荒川慎太郎. 2005. (書評)「龔煌城著『西夏語文研究論文集』」『言語研究』第127号:159—174.
——2014. 「西夏文『金剛經般若波羅蜜多經典』録文訳注」『西夏文金剛經の研究』京都:松香堂:210—287.
- 段玉泉. 2022. 「西夏語的疑問代詞 lji¹ kji¹」『西夏研究』2022年4期:19—24.
- 龔煌城. 2001. 「西夏語動詞の人称呼応と音韻転換」*Languages And Linguistics* :21—67.
- 龔煌城. 2005. 「西夏語若干韻母転換の起源—重畳复合詞」『西夏語言文字研究論集』北京:民族出版社:145—149.
- 李範文(編). 1997. 『夏漢字典』北京:中国社会科学出版社(増補修正本2008).
- 聶鴻音. 2009. 『西夏文〈新集慈孝伝〉研究』銀川:寧夏人民出版社.
- 西田龍雄. 2012. 「西夏語文法新探」『西夏語研究新論』, 京都:松香堂書店:285—288.
- 張珮琪. 2013. 「論西夏語的來去動詞」『西夏学』第9輯:321—344.

英文

- Arakawa Shintaro. 2021. “On the Tangut prefix ²da:-”, *Письменные памятники Востока*. Том 18. № 3(вып 46):64—73.
- 2022. “Directional prefixes in Tangut—Outline, types, and some remarks—”, *Grammatical phenomena of Sino-Tibetan languages* 3:15—54.
- Gong Hwang-Cherng. 2003. “Tangut”. *The Sino-Tibetan languages*. London and New York: Routledge:602—620.
- Jacques, Guillaume. 2012. “The Tangut kinship system in Qiangic perspective”, *Medieval Tibeto-Burman Languages* IV:211—257.
- 2014. *Esquisse de Phonologie et de Morphologie Historique du Tangoute*, *Global Oriental*:227—228.
- Solonin, Kirill Ju. forthcoming. 『大鵬展翅:藏伝新旧密咒在西夏の伝播』, (未刊稿).
- Sun, Jackson T.-S. 2000 “Parallelisms in the Verb Morphology of Sidaba rGyalrong and Lavrung in rGyalrongic”, *Language and Linguistics* 1.1:161—190.

²⁰ 龔 (2005:145-149)参照.

²¹ Sun (2000)によれば、ギャロン語では母音の交替により、non-past と past の区別があり、基本形は non-past で、派生形は past であるという西夏語と反対の事例が報告されている。一般的にギャロン語はアスペクト型の言語とされるが、このテンス型の解釈は Sun による。

執筆者連絡先: 2019000407@ruc.edu.cn
原稿受理: 2022年12月7日